

運動の最終目標4, 250億円にラストスパート！

～「浜を守る！ぎょさい総加入運動」最終年度 加入計画達成に向けて～

平成19年度は、関係者のご支援ご協力のもと、運動の2年目となる「浜を守る！ぎょさい総加入運動」を積極的に展開した結果、新規加入の増加、契約割合のアップ等により、「ぎょさい」事業の開始以来初の4,000億円台となる共済金額4,053億円の加入実績を達成するという成果をあげることができました。運動最終年度となります平成20年度は、さらに「共済金額4,250億円」(5%増)を目標に取り組みを行っていくことにしています。

最近の漁業経営は、引き続き資源状況の悪化や度重なる漁業災害の発生等に加え、歯止めの効かない燃油価格の高騰により、従来にも増して厳しい環境に直面しております。一方、台風や大型低気圧被害、高水温による影響や赤潮被害など、これまでにないような災害も多発しております。

このような中、普遍的な加入の促進と災害対策、経営安定対策としての定着をはかるため、「浜を守る！ぎょさい総加入運動」のもと、漁業共済基盤強化事業と「積立ぶらす」を積極的に活用し、浜回り等の推進活動をより一層強化することにより、運動の目標であります「漁業の主要な担い手の全員加入」、「真に経営安定に役立つための補償力のアップ」が達成できるよう、中央・地方、系統各団体、行政庁等連携をとりながら全力で進めてまいります。

厳しい情勢のなかではありますが、この運動の最終目標である4,250億円の達成に向けて推進していきます。



(平成20年6月15日 運動情報版より)